

製品名: β -1,3-Gal-T4 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab20340

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	B3GALT4 B3GALT4; GALT4; Beta-1; 3-galactosyltransferase 4; Beta-1,3-GalTase 4; Beta3Gal-T4;
別名	Beta3GalT4; GalT4; b3Gal-T4; Gal-T2; Ganglioside galactosyltransferase; UDP-galactose:beta-N-acetyl-galactosamine-beta-1,3-galactosyltransferase
遺伝子 ID	8705.0
SwissProt ID	O96024
免疫原	抗血清はヒト B3GALT4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

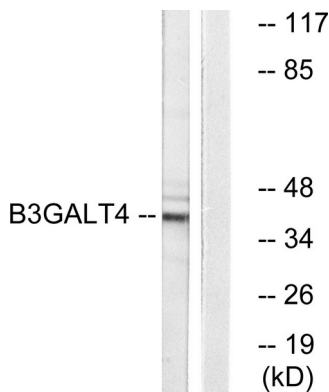
背景

この遺伝子は、 β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ (β 3GalT) 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーは、異なるドナー基質 (UDP-ガラクトースおよび UDP-N-アセチルグルコサミン) と異なるアクセプター糖 (N-アセチルグルコサミン、ガラクトース、N-アセチルガラクトサミン) を用いて多様な酵素機能を発揮する II 型膜結合型糖タンパク質をコードしています。 β 3GalT 遺伝子はショウジョウバエの Brainiac 遺伝子と遠縁であり、タンパク質コード配列は単一のエクソンに含まれています。 β 3GalT タンパク質には、 β 4GalT タンパク質や α 3GalT タンパク質には見られない保存配列も含まれています。これらの酵素によって合成される糖鎖はタイプ 1 型と呼ばれ、 β 4GalT 酵素はタイプ 2 型の糖鎖を合成します。タイプ 1 型とタイプ 2 型の糖鎖の比率は、胚発生中に変化します。配列の類似性により、beta3GalT 遺伝子は少なくとも 2 つのグループに分類されます:beta3GalT4 と他の 4 つの beta3 触媒活性:UDP-ガラクトース + N-アセチル-D-ガラクトサミニル-(N-アセチルノイラミニル)-D-ガラクトシル-(1->4)-beta-D-グルコシル-N-アシルスフィンゴシン = UDP + D-ガラクトシル-(1->3)-beta-N-アセチル-D-ガラクトサミニル-(N-アセチルノイラミニル)-D-ガラクトシル-D-グルコシル-N-アシルスフィンゴシン。機能:GM1/GD1B/GA1 ガングリオシド生合成に関与します。オンライン情報:Beta-1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ 4,オンライン情報:GlycoGene データベース,パスウェイ:タンパク質修飾;タンパク質の糖化。類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 31 ファミリーに属します。組織特異性:心臓、骨格筋、膵臓で高く発現し、脳、胎盤、腎臓、肝臓、肺でも低い程度に発現します。、

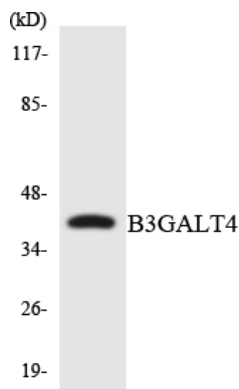
研究分野

スフィンゴ糖脂質の生合成;

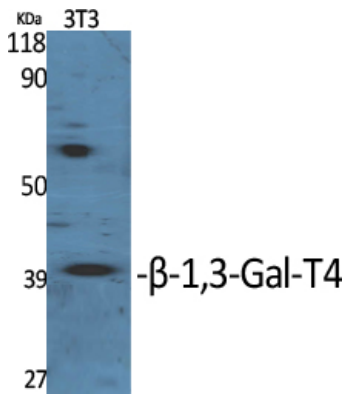
画像データ



B3GALT4 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



B3GALT4 抗体を使用した 293 細胞からの溶解物のウェスタンブロット分析。



β-1,3-Gal-T4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。